

14 結婚や子育てに関する意識について

(1) 晩婚化や未婚化が進んでいる理由

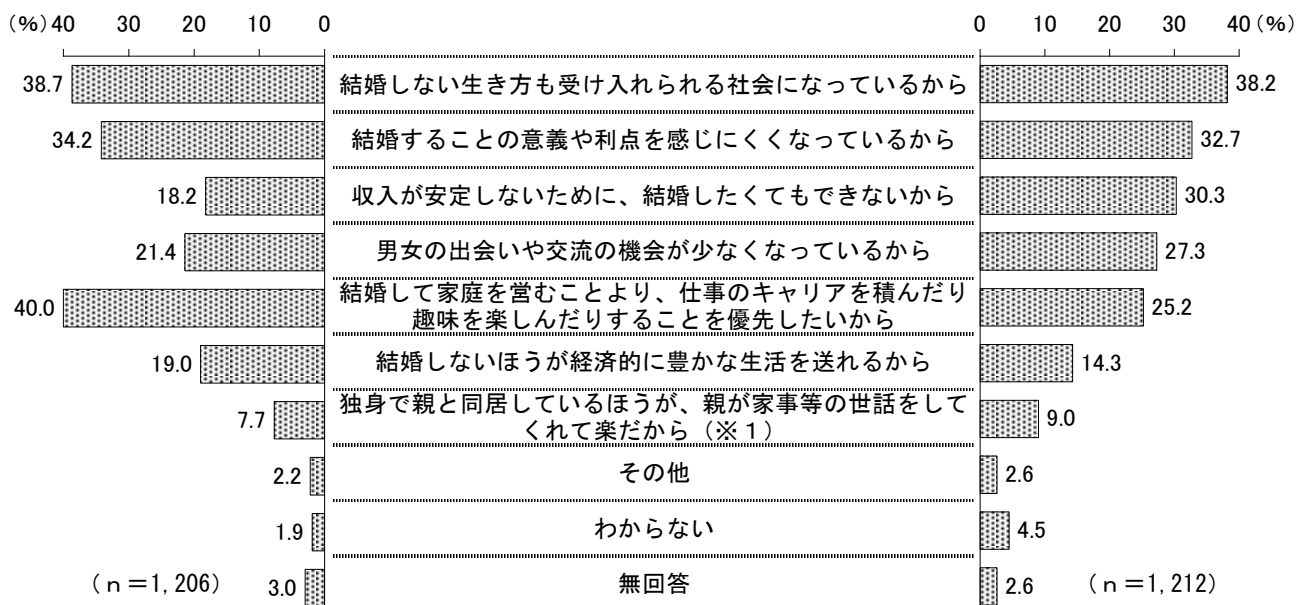
問39 少子化の要因の一つと言われる晩婚化や未婚化が進んでいる理由について、あなたは
どう思いますか。次の中から2つ選んでください。

[n=1,212]

1	結婚することの意義や利点を感じにくくなっているから	32.7%
2	結婚しない生き方も受け入れられる社会になっているから	38.2
3	独身で親と同居しているほうが、親が家事等の世話をしてくれて楽だから	9.0
4	結婚しないほうが経済的に豊かな生活を送れるから	14.3
5	結婚して家庭を営むことより、仕事のキャリアを積んだり趣味を楽しんだりすることを優先したいから	25.2
6	男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから	27.3
7	収入が安定しないために、結婚したくてもできないから	30.3
8	その他	2.6
9	わからない	4.5
	(無回答)	2.6

【平成18(2006)年】

【令和元(2019)年】



(※1) 「独身で親と同居しているほうが、親が家事等の世話をしてくれて楽だから」は、平成18(2006)年調査では「独身の方が親が家事等の世話をしてくれて楽だから」としていた。

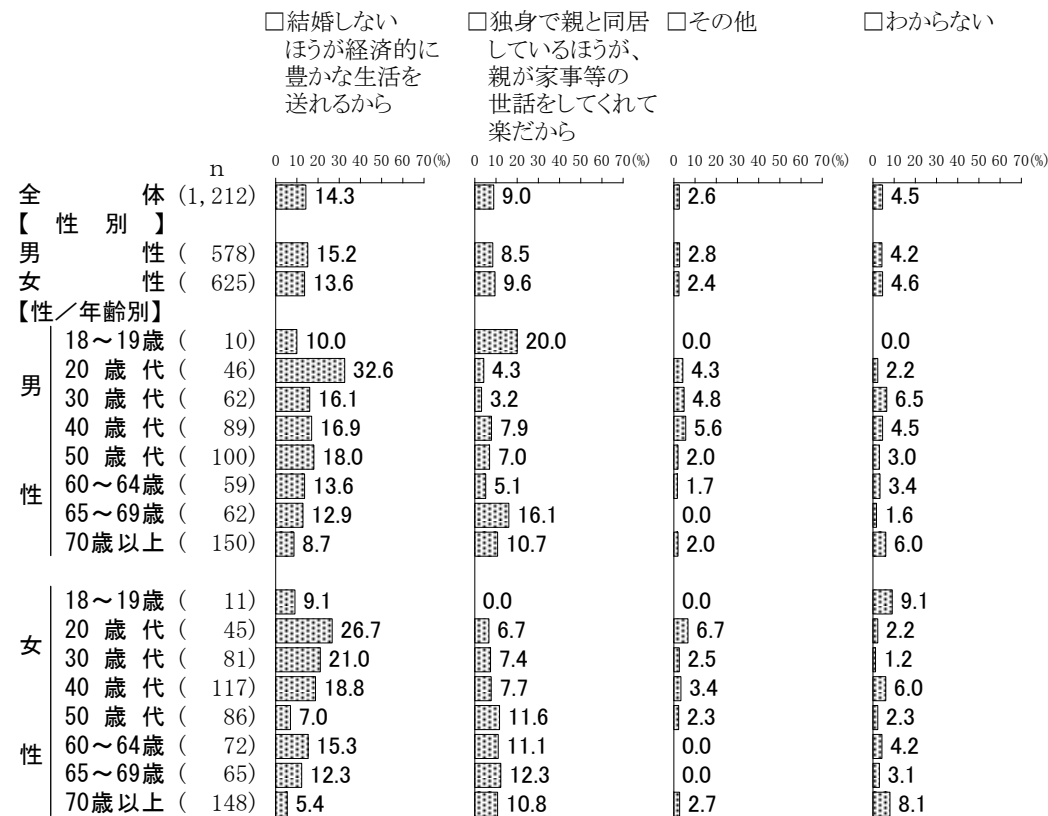
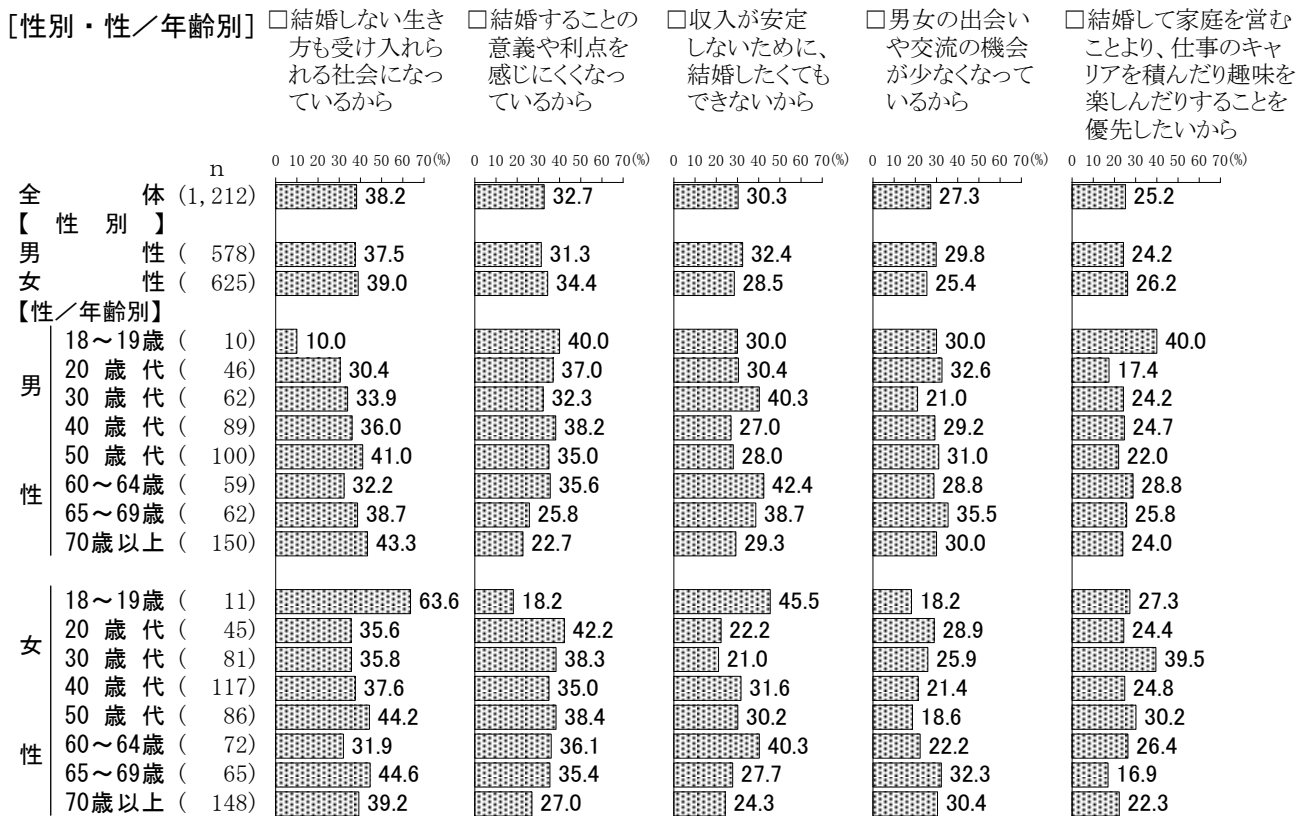
(※2) 平成18(2006)年の質問文は以下のとおりである。

「最近、晩婚化や未婚化が進んでいます。その理由について、あなたはどう思いますか。次の中から2つまで選んでください。」

全体で見ると、「結婚しない生き方も受け入れられる社会になっているから」(38.2%)が4割近くで最も高く、次いで「結婚することの意義や利点を感じにくくなっているから」(32.7%)、「収入が安定しないために、結婚したくてもできないから」(30.3%)の順となっている。

平成18(2006)年の調査結果との比較は、質問文および選択肢の文言の変更があるため参考にとどまるが、「収入が安定しないために、結婚したくてもできないから」が12.1ポイント増加している。一方、「結婚して家庭を営むことより、仕事のキャリアを積んだり趣味を楽しんだりすることを優先したいから」が14.8ポイント減少している。

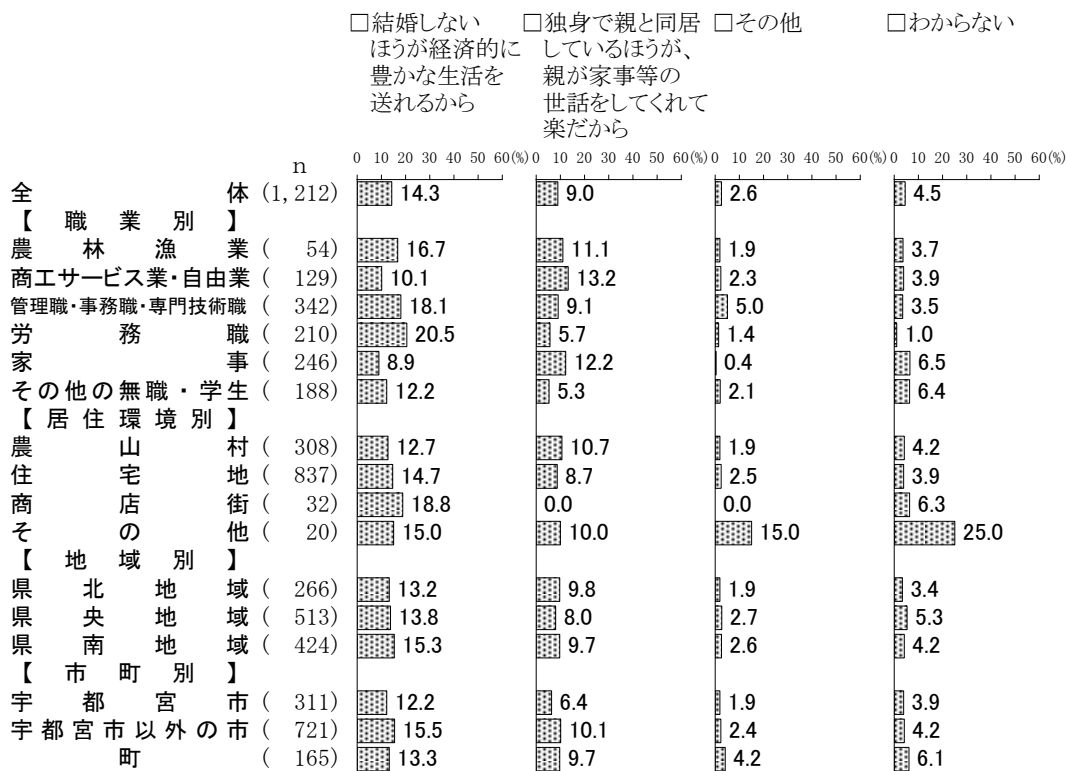
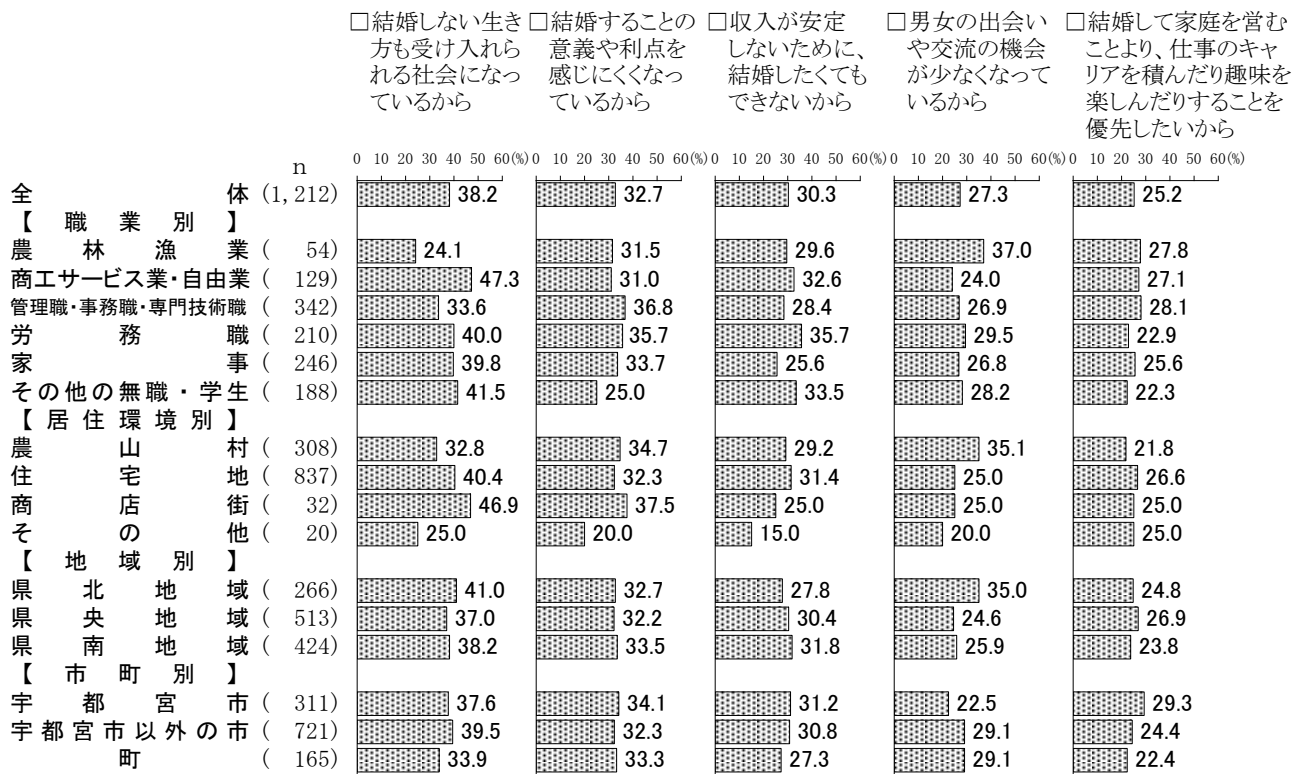
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから」では〈男性〉(29.8%)が〈女性〉(25.4%)より4.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「収入が安定しないために、結婚したくてもできないから」では〈男性60～64歳〉が42.4%、〈男性30歳代〉と〈女性60～64歳〉がともに40.3%と高くなっている。「結婚して家庭を営むことより、仕事のキャリアを積んだり趣味を楽しんだりすることを優先したいから」では〈女性30歳代〉が39.5%と高くなっている。「結婚しないほうが経済的に豊かな生活を送れるから」では〈男性20歳代〉が32.6%、〈女性20歳代〉が26.7%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「結婚しない生き方も受け入れられる社会になっているから」では〈商工サービス業・自由業〉が47.3%と高くなっている。「男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから」では〈農林漁業〉が37.0%と高くなっている。

居住環境別でみると、「結婚しない生き方も受け入れられる社会になっているから」では〈商店街〉が46.9%と高くなっている。「男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから」では〈農山村〉が35.1%と高くなっている。

地域別でみると、「男女の出会いや交流の機会が少なくなっているから」では〈県北地域〉が35.0%と高くなっている。

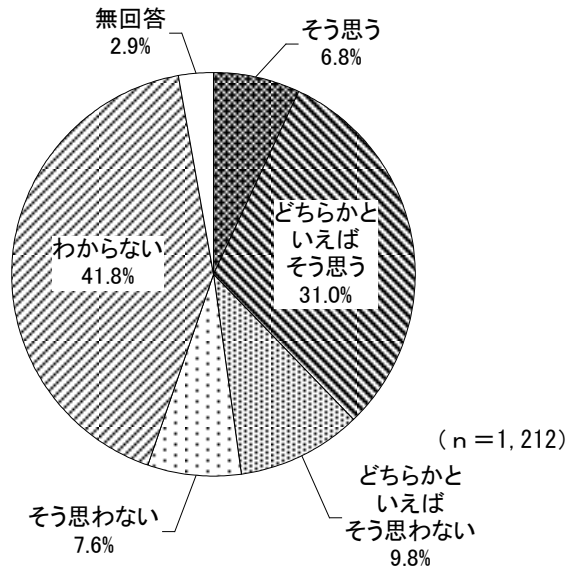
市町別でみると、「結婚して家庭を営むことより、仕事のキャリアを積んだり趣味を楽しんだりすることを優先したいから」では〈宇都宮市〉が29.3%と高くなっている。

(2) ここ数年での子育てのしやすさ

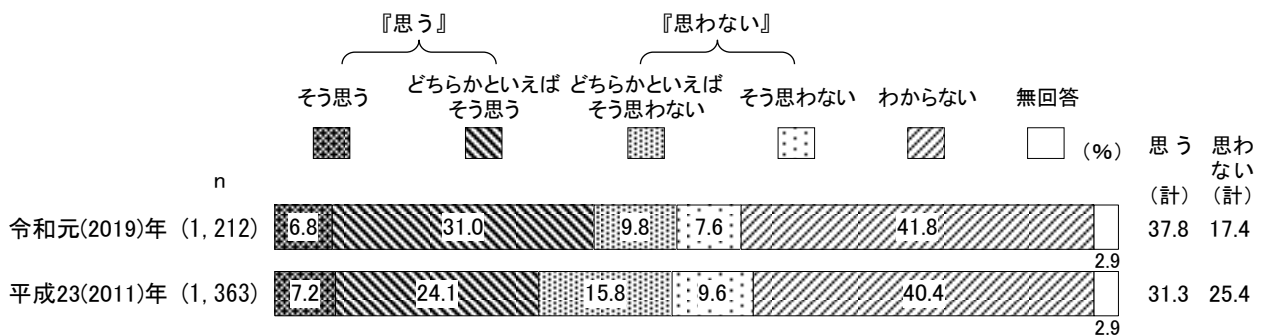
問40 あなたは、おおむね5年の間に栃木県では子育てがしやすくなったと思いますか。
次の中から1つ選んでください。

[n=1,212]

1	そう思う	6.8%	4	そう思わない	7.6%
2	どちらかといえばそう思う	31.0	5	わからない	41.8
3	どちらかといえばそう思わない	9.8	(無回答)		2.9



全体でみると、「そう思う」(6.8%)と「どちらかといえばそう思う」(31.0%)の2つを合わせた『思う』(37.8%)は4割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(9.8%)と「そう思わない」(7.6%)の2つを合わせた『思わない』(17.4%)は2割近くとなっている。

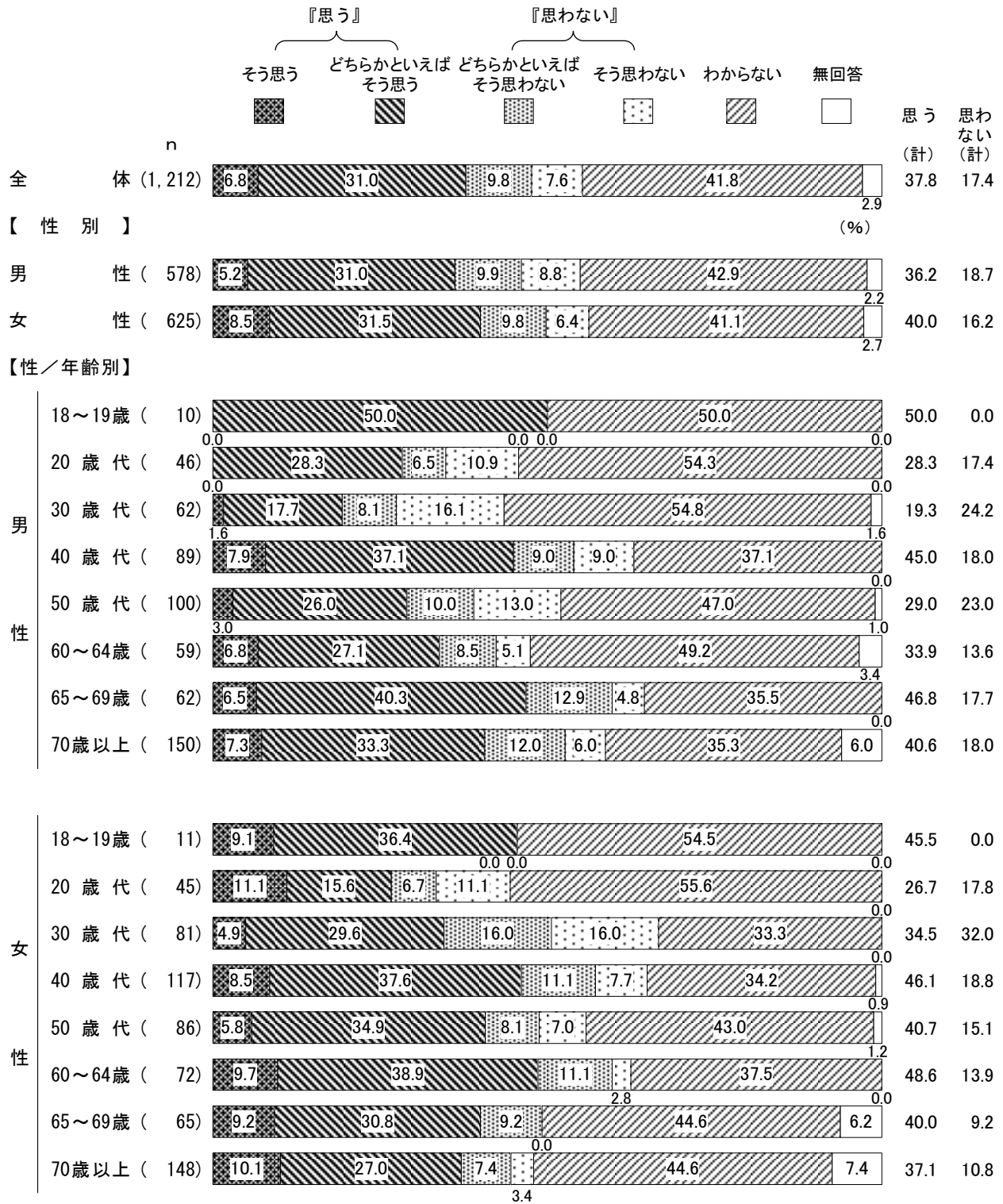


(※) 平成23(2011)年の質問文は以下のとおりである。

「あなたは、おおむね5～6年の間に栃木県では子育てがしやすくなったと思いますか。次の中から1つ選んでください。」

平成23(2011)年の調査結果との比較は、質問文の文言の変更があるため参考にとどまるが、『思う』が6.5ポイント増加している。一方、『思わない』が8.0ポイント減少している。

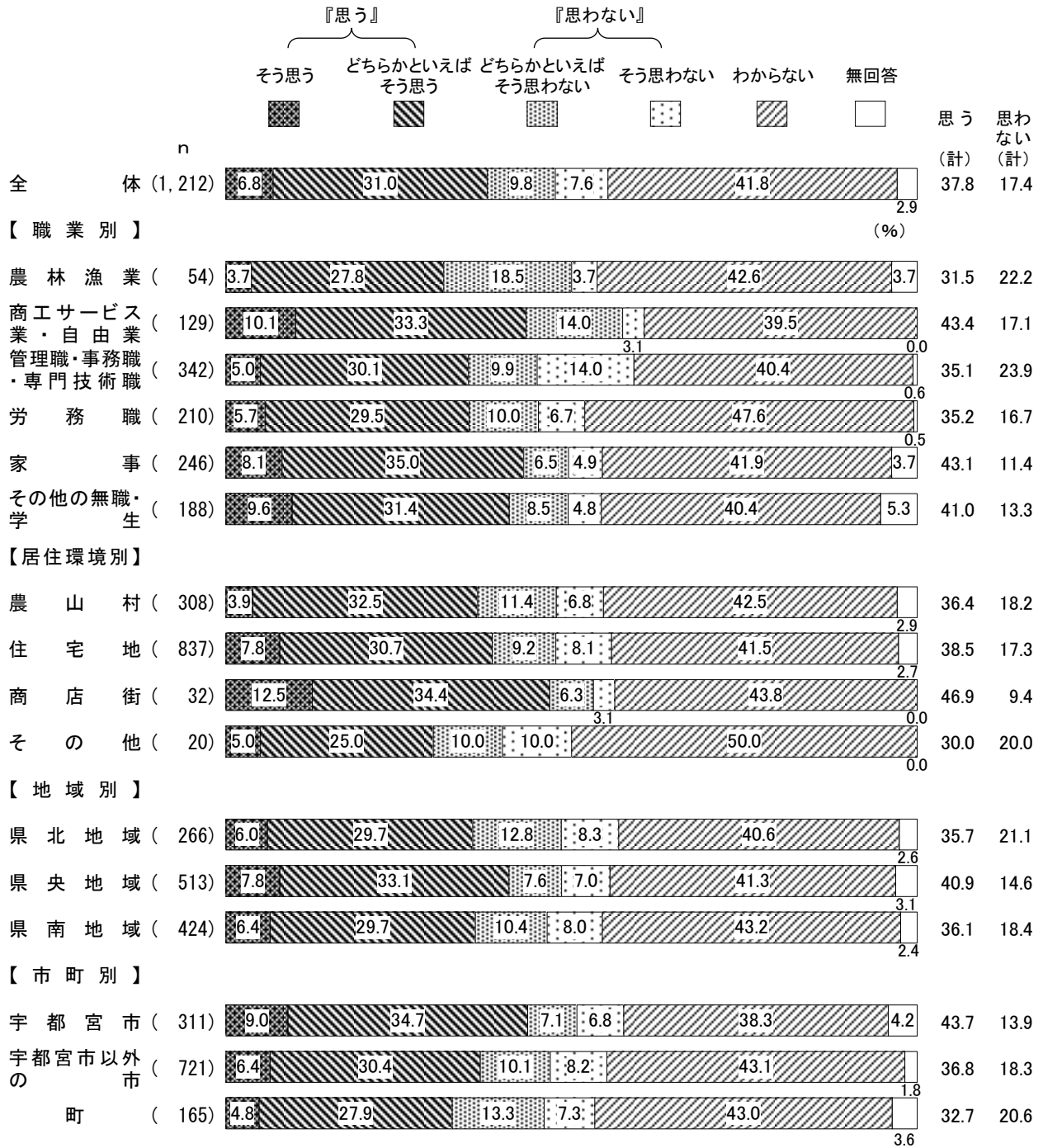
[性別・性／年齢別]



性別でみると、『思う』では〈女性〉(40.0%)が〈男性〉(36.2%)より3.8ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『思う』では〈女性60～64歳〉が48.6%、〈男性65～69歳〉が46.8%、〈女性40歳代〉が46.1%、〈男性40歳代〉が45.0%と高くなっている。一方、『思わない』では〈女性30歳代〉が32.0%、〈男性30歳代〉が24.2%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、『思う』では〈商工サービス業・自由業〉が43.4%、〈家事〉が43.1%と高くなっている。一方、『思わない』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が23.9%、〈農林漁業〉が22.2%と高くなっている。

居住環境別でみると、『思う』では〈商店街〉が46.9%と高くなっている。

地域別でみると、『思う』では〈県央地域〉が40.9%と高くなっている。一方、『思わない』では〈県北地域〉が21.1%と高くなっている。

市町別でみると、『思う』では〈宇都宮市〉が43.7%と高くなっている。一方、『思わない』では〈町〉が20.6%と高くなっている。

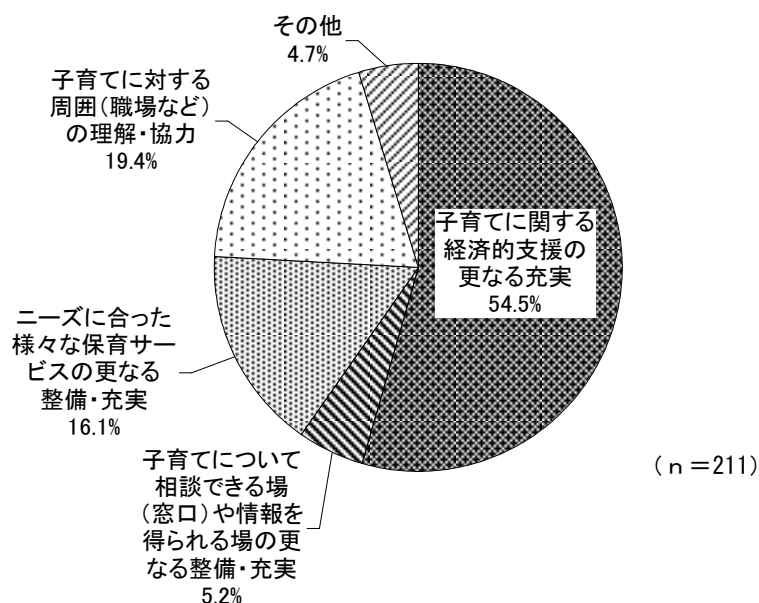
(2-1) 子育てをしやすくするために改善すべきと思うこと

(問40で選択肢「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を選んだ方のみお答えください)

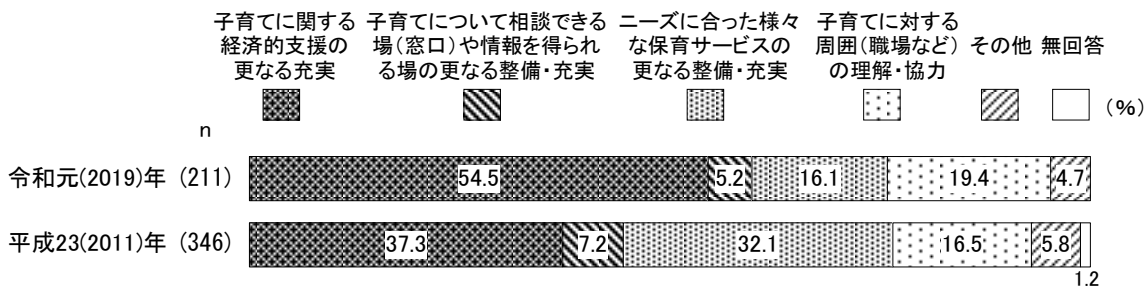
問40-1 あなたは、今後特にどのような点が改善されれば、子育てがしやすくなると思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=211]

- | | | |
|---|-------------------------------------|-------|
| 1 | 子育てに関する経済的支援の更なる充実 | 54.5% |
| 2 | 子育てについて相談できる場（窓口）や情報を得られる場の更なる整備・充実 | 5.2 |
| 3 | ニーズに合った様々な保育サービスの更なる整備・充実 | 16.1 |
| 4 | 子育てに対する周囲（職場など）の理解・協力 | 19.4 |
| 5 | その他 | 4.7 |

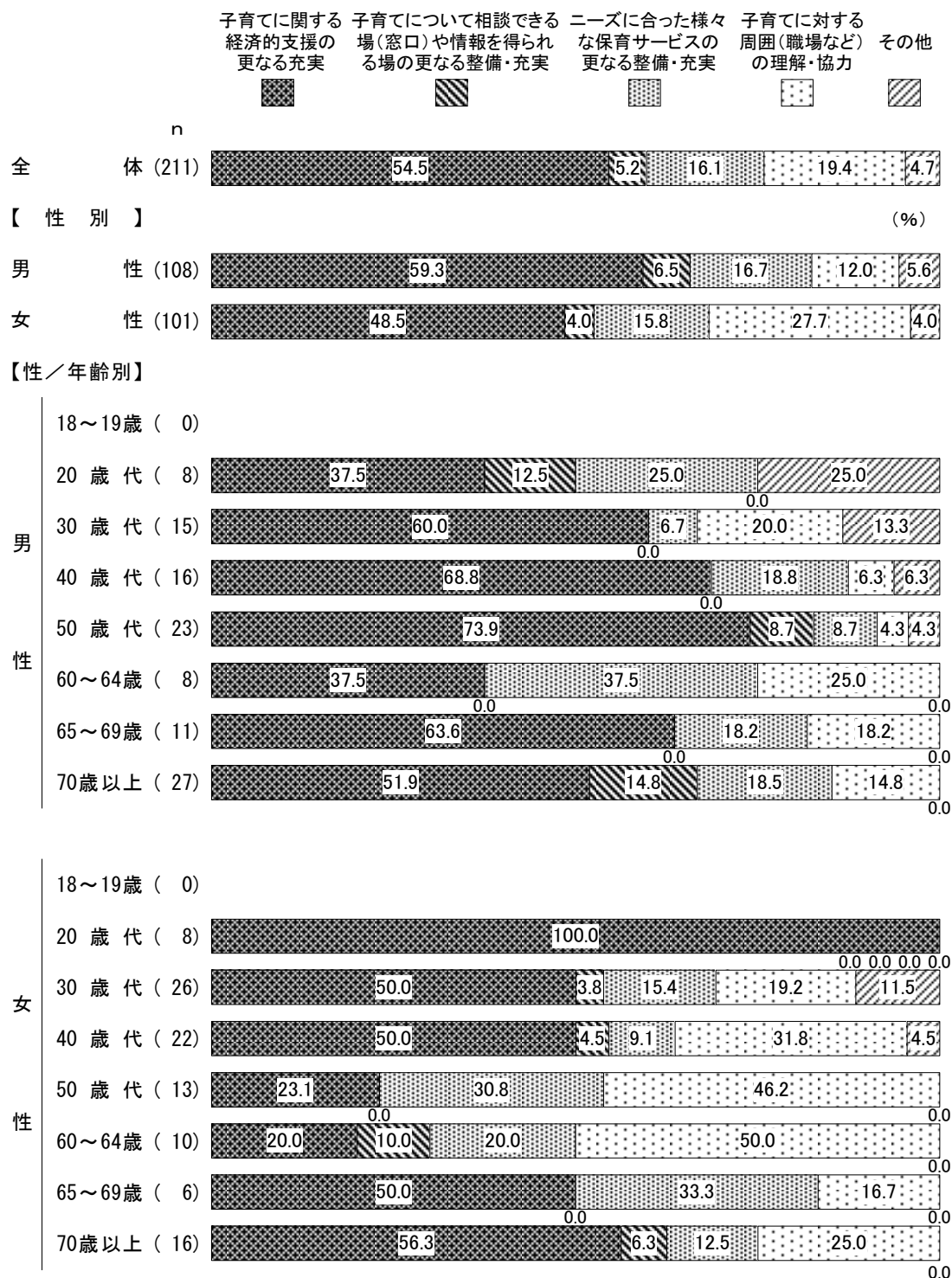


全体でみると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」(54.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「子育てに対する周囲（職場など）の理解・協力」(19.4%)、「ニーズに合った様々な保育サービスの更なる整備・充実」(16.1%)、「子育てについて相談できる場（窓口）や情報を得られる場の更なる整備・充実」(5.2%)の順となっている。



平成23(2011)年の調査結果と比較すると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」が17.2ポイント増加している。一方、「ニーズに合った様々な保育サービスの更なる整備・充実」が16.0ポイント減少している。

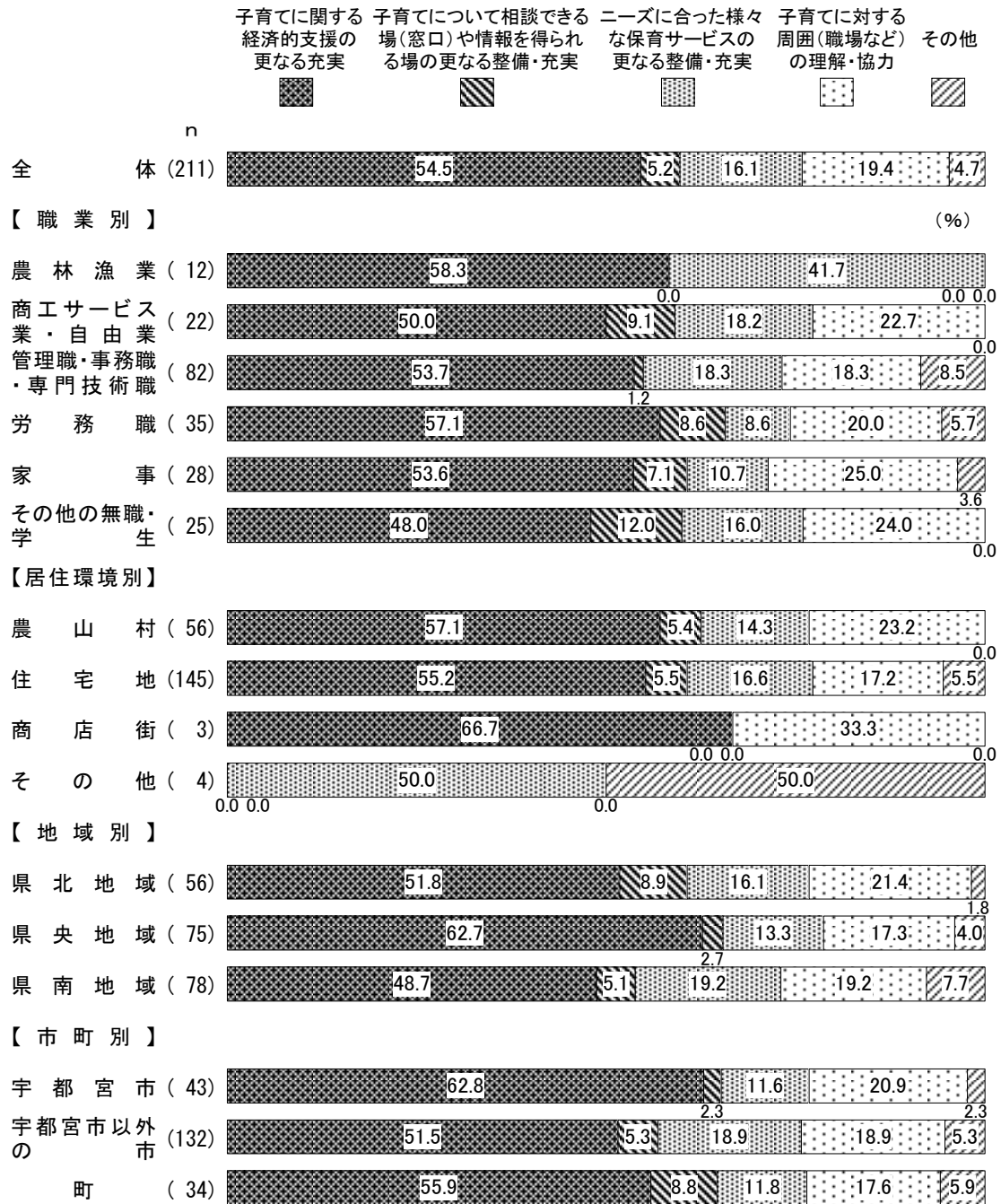
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「子育てに対する周囲（職場など）の理解・協力」では〈女性〉（27.7%）が〈男性〉（12.0%）より15.7ポイント高くなっている。「子育てに関する経済的支援の更なる充実」では〈男性〉（59.3%）が〈女性〉（48.5%）より10.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」では〈男性50歳代〉が73.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」では〈労務職〉が57.1%と高くなっている。

居住環境別でみると、「子育てに対する周囲（職場など）の理解・協力」では〈農山村〉が23.2%と高くなっている。

地域別でみると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」では〈県央地域〉が62.7%と高くなっている。

市町別でみると、「子育てに関する経済的支援の更なる充実」では〈宇都宮市〉が62.8%と高くなっている。